



組織のトップが学ぶべき アドラー心理学

(3) 共同体感覚と幸せ

中小企業活力向上オンラインセミナー
人材・組織分野

中小企業活力向上プロジェクトアドバンス実行委員会事務局



「アドラー心理学」と本セミナーのテーマ

アドラー心理学とは

- オーストリアの精神科医・心理学者のアルフレッド・アドラーが創設した心理学
- 他者を変えたり、操作するためではなく、自分が変わるための心理学
- 目的論や主体論、認知論など様々な理論や教えがある

全三回で取り上げるテーマ

第一回目

目的論

第二回目

横の関係と
勇気

第三回目

共同体感覚と
幸せ



「アドラー心理学」と本セミナーのテーマ

アドラー心理学とは

- オーストリアの精神科医・心理学者のアルフレッド・アドラーが創設した心理学
- 他者を変えたり、操作するためではなく、自分が変わるための心理学
- 目的論や主体論、認知論など様々な理論や教えがある

全三回で取り上げるテーマ

第一回目

目的論

第二回目

横の関係と
勇気

第三回目

共同体感覚と
幸せ



スタッフからの”あいさつ”。どう答える？



おはようございます



スタッフからの”あいさつ”。どう答える？

1

仕事が忙しいので、無視する





スタッフからの”あいさつ”。どう答える？

1

仕事が忙しいので、無視する



2

パソコンを見たまま、返事をする





スタッフからの”あいさつ”。どう答える？

1

仕事が忙しいので、無視する



2

パソコンを見たまま、返事をする



3

笑顔で「おっ、〇〇さん、おはよう」と返事をする





スタッフからの”あいさつ”。どう答える？

1

仕事が忙しいので、無視する



2

パソコンを見たまま、返事をする



3

笑顔で「おっ、〇〇さん、おはよう」
と返事をする





共同体

- 人は弱い生き物なので、
他者と共に共同体の中で生きている
(家族、学校、会社、地域、国、地球…)
- 共同体感覚は英語でsocial interest(他者への関心)
↔self interest(自己への関心・執着)
- 共同体感覚を獲得することで人は幸せを感じる



共同体感覚を獲得するためには

自己受容 「私はありのままでもいいし、今の私が好き」という感覚

他者信頼 「周囲の人たちは信頼できる」という感覚

貢献感 「私はこの共同体の役に立っている」という感覚

所属感 「私はこの共同体の一員だ」という感覚



組織で共同体感覚を獲得するためには

- **自己受容を高めるためには**
 - **フィードバックセッション**で従業員の良い点を認める
 - **会議前のチェックイン(雑談)**で非公式コミュニケーションを促進する
- **他者信頼を高めるためには**
 - **1on1**で、従業員の抱えている思いや悩みを傾聴する
 - **競争させないよう、絶対評価**を取り入れる
- **貢献感・所属感を高めるためには**
 - **従業員への日頃の感謝や貢献を表明**する
 - **組織のパーパスやビジョン**を策定し、日々の業務がそれらと紐づいていることを伝える



専門家とともに改革を実践してみましょ

経営分析と実行支援のサポートを受けられます

経営分析 [現状チェック・アドバイス]



実行支援 [課題解決]

従業員数別に3パターンでチェックできる「中小企業活力向上チェックシート」を使い、貴社の現状をチェックできます。

無料で中小企業診断士から客観的なアドバイスを受けることができます。



- 貴社に役立つ中小企業支援施策がわかります。
- 商工会・商工会議所から継続的なサポートを受けられます。

